

安全祈願 市汚泥再生処理センター建設工事の安全を祈願

9月16日、船引町春山地内(大滝根水環境センター内)で、田村市汚泥再生処理センター建設工事安全祈願祭が行われました。

し尿・浄化槽汚泥の処理を行っている田村地方衛生処理センターの老朽化に伴い、新たなし尿・浄化槽汚泥の受け入れ施設として建設するもので、完成予定は4年の2月です。

安全祈願祭では、工事関係者が神事を行い工事の安全を祈願しました。



清掃奉仕 大越行政局をボランティア清掃活動

8月17日、大越町の有限会社白土塗装の社員の皆さんに、大越行政局のバルコニーをボランティアで清掃していただきました。

同社社長の白土玲次さんが、「施設美化により訪れる方が気持ちよく利用できるよう協力したい」と申し出ていただきました。

暑い日差しの中での作業でしたが、丁寧に清掃していただきました。



合同学習会 介護予防と交通安全を学ぶ

8月27日、常葉公民館で常葉町老人クラブ連合会・常葉公民館寿学級合同の「介護予防教室と交通安全教室」が開催され、参加者66人が楽しく学習しました。

介護予防教室では、(株)ルネサンスの佐藤圭太さん、成田幸生さんの指導で、手足と頭脳を使った運動を行いました。

交通安全教室では、常葉駐在所の大竹裕規主任から、交通事故や特殊詐欺の予防策を分かりやすく教えてもらいました。



表彰 交通事故死者ゼロ千日達成!

8月31日、交通事故死者ゼロ千日を達成した田村市交通対策協議会への表彰状伝達式が市役所で行われました。

菅野俊彦県中地方振興局次長から本田仁一田村市交通対策協議会会長に表彰状が授与されました。

市では、平成29年12月3日に発生した死亡事故を最後に交通事故による死亡者が発生していません。

今後も、交通事故死者ゼロ千日、三千日と続くよう交通安全を心がけ事故のない田村市を目指しましょう。



百歳賀寿 末永く お元気で

船引町堀越の渡邊タケノさんが、8月2日に満百歳を迎えられました。

福島県、田村市、田村市社会福祉協議会から賀寿や祝金などが贈られ、タケノさんは、にこやかに受けられました。

家族によると、タケノさんの姉2人も健康長寿で、「寿(ことぶき)3姉妹」と言われていたそうです。「仕事に一生懸命で身体を良く動かしていたことが長寿の秘訣」と話されています。



敬老事業 敬老記念品を配布

今年の敬老会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と敬老者の健康と安全の確保を第一に考え、中止となりましたが、記念品は9月20日に市内12地区の実行委員会が配布しました。

船引地区では、社会教育振興会や船引地域づくり協議会の皆さんが新しい生活様式に配慮しながら配布しました。

敬老者の皆さん、いつまでもお健やかに、楽しい毎日をお過ごしください。



営農再開支援 都路町で新機械導入稼働式

9月11日、都路町のMKFカンパニーが導入した新しい飼料用米・稲発酵粗飼料(WCS)専用収穫機の稼働式が行われました。

飼料用米・稲発酵粗飼料(WCS)はホールクroppと呼ばれ畜産用の飼料となります。

福島県の補助を受けて新しく導入した専用収穫機・ラップマシーンは、営農再開が徐々に進む都路町畜産業界にとって、大きな役割が期待されています。



ふくしまの花を展示 コロナ禍で沈んだ気持ちをパッと明るく

市役所やカブトムシ自然観察園などの公共・観光施設の入口に「ふくしまの花」を展示しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で催事やイベントが相次いで中止となり、売り上げが減少した市内の花き生産者・事業者を支援するため、福島県花き振興協議会の協力をいただき行いました。

きれいに飾られた花が、厳しい状況にありながらも、人々にひとときの安らぎを与えてくれました。

